第貳號 No. 2 The Woman's Weekly November 12 1915 (大正四年十一月十二日)

婦人週報

主幹 小橋三四子 編輯主任 松本雲舟
(大正四年十一月四日第三種郵便物認可)

婦人週報第壹巻第貳號

御大典に際して

小橋三四子

△大典を飾る婦人

千載一遇の御大典を記念せんが爲に、各社會、學校、家庭に於ては、それ〲美はしい記念事業の營まれました事は、如何にも時機に適した事でございます。殊に明治維新の際は、全く物の蔭に隱れて居つた婦人界は、今や漸く社會の表面に根底を築かうとして居ります。畏くも御即位の式場に於かせられても天皇陛下と相並んで皇后陛下の高御座を置かせられしを初めとして、參列の高位顯官方の、夫人を同伴せらるゝ者の多數を占めて居るのも、稀らしい事でありますが、更に多年女子教育界並びに社會事業に盡瘁せられ功により叙勳の恩命を蒙りし數女史あり、なほ婦人の力によつて、この御大典を清淨無垢に迎へんが爲めの婦人矯風會の運動を始めとし、花の會、旗の日等の催しがあつて兎に角に引込勝の婦人等が、世の批難をも排して、何等かの働らきをしやうとする勇氣の見えて居るのは見逃すことの出來ない光景でございます。

△女學校の記念事業

女學校に於ても、記念植樹を爲すあり、服制を改良するあり、母校の教育機關の完備を計る爲めに資金募集を企つるあり、各思ひ思ひの趣向があつて、よく其校風と今後の方針とを現はして居ります。その中に首都に於て最も有力なる某高等女學校に於ては、御大典を機として各家庭に於て、天照皇太神宮を祭る事と、二重橋前通行の際の敬禮を勵行する事といふのがあります。勿論わが國民として皇室の尊嚴とその鴻恩とを思はぬ者はなく、この企ても忠良の國民の至誠を現はす方法の一つには違ひ無からうと思はれます。只恨むらくはとかく固陋に流れ易い女子に、形式的になり易い事を强うるは、却て其の精神を沒却する怖れがないかと、懸念さるゝのであります。

△小さき垣を破れ

社會に立つても身贔負の强い者は、却て人の指彈を受けて、孤立に傾くものですが、國と國との間に於ても、中華、神國を以て誇る間は、、なほその國民の蒙昧を語るもので、却つて他國の輕蔑を招きます世界的になつた今日の日本は國民が小さく結んだ垣を破つて各國の人々と融和し同情同感を持つやうにならなければ到底日本の聲價を高らしむる事は出來ませぬ。今後の國を愛する者は、宜しく万國民を理解し、これを指導するに足る智識と精神とを養ふ事を先づ務めなければなりませぬ。

△今後の女子教育

これ迄の女子教育はとかくに形式的のしかも細目にのみ亘つて居るので、皮相淺薄になり、中心の精神に達せずして止んで居ります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（毎金曜日發行）
發行所 東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行兼編輯人 小橋三四子 印刷人 小橋三四子
印刷所 四谷區尾張町五地番 万月堂印刷所

私は大正の新時代と共に、女子教育に一進歩を加へて、もう少し根本的な教育を授けるやうにしたいと思ひます。制度は一朝一夕にして改むる事か出來ない迄も、教育者の手心で如何やうにも方法はあらうと思ひます。例へば忠君愛國を說くにも、儀禮を先にせず、先づその島國根性を去り、人を愛敬する精神を與へて、美はしき感情の自然に流露して、初めて快よき禮儀と爲ることを教ゆる事も出來ませう。また同學科を教ゆるにしても、確乎りと一步宛智識的基礎を固めて行くといふことも出來ませう。

△憂ふべき半面の暗黑

「智識を增せば憂ひを增す」といふ事は、自負の歎であります、今日の日本婦人は、智識無き爲めに悲境に陷つて居るのは事實であります。無意識の間に受けて居る社會の壓迫や、まだ見ぬ智識世界の憧憬や、その胸には漲る感慨を湛へながら、なほこれを解く術を、知らない哀れなものであります。婦人をかゝる境遇から救はぬ間は如何に世の文明を希つても、半面の暗黑を取り去る事は出來まいと信じます。從つて女子教育の是非に就いて、世人が注意を惹くやうになる事のもつと多くなるとを望んで止みませぬ。

週評

●七女史の叙勳 多年女子教育に盡瘁せる矢島、津田、山脇、嘉悦、佐藤、佐方、後閑の七女史が勳六等寶冠章に叙せられました。前五女史は私人として女子教育に盡し後二者は高師の教授として盡くされたので、自ら徑庭があるやうですが、兎に角七女史の光榮を祝賀いたします。御大典の餘榮が女子教育家に及んだことは、大正年代の新しい現象として注目する價値があります。

●恩赦と賑恤 御大典を期として聖德貧民罪人に及び、恩赦と賑恤の發表がありました。獄窓に呻吟せる罪人、飢餓に泣く老人などはどんなに聖恩を感泣することでせう。聖恩の眞意を斯る輩に能く理解せしめたいものです。

●女子禁制解除 一旦婦人が大學に入る事を拒んだ教育調査會でも其後反省ずる所があつたと見えて其禁制を解除することになりました。委員の一人である成瀨仁藏氏の苦衷を多とせねばなりません。併しかういふ禁制解除も婦人が自ら進んで利用しなければ何にもなりません。いかに婦人寬待の規則を作つても婦人自ら卑下して其の規則の內容を充實する樣にせねば無駄な話しです。今後大學教育を受ける婦人が大なる責任を自覺して、男子と同等の實力を養うことに、努めてもらひたいものです。

●ウイルソンの結婚 米國大統領ウイルソン氏はノルマンガルト夫人と婚約し、このクリスマス頃に結婚式を擧げられるさうですが、白亞館上の喜色遙察せられます、大統領が寡婦である夫人と婚して人も我も怪しまぬ米國の自由なるを羨慕せねばなりません。

●在佛救護班不評判 在佛日本赤十字病院の入院患者が次第に減少して、今では二十名足らずしかないさうです、佛國政府へ患者を寄越してくれるやうに頼むと、目下激戰がないので、貴病院を煩はすまでもないとの返事ださうですが、其癖佛國では病院が不足してドシ／＼新收容所を建增してゐる仕末ださうです、日本救護班が斯くも不評判になつたのは鹽田醫長が沸國貴婦人の感情を害したからださうで、人豈かくさんやと申さねばなりません。

本號目次

御大典に際して……小橋三四子
週評……
時事……
御即位禮、勅語、恩赦公布、賑恤金下賜、叙位叙勳、女子教育家叙勳、花と旗、女子の入學を認む、女學校たより
婦人の獨立……麻生正藏
頭腦の基礎を作れ……三谷民子
噂……
一人一評‖矢島楫子……
媒介結婚か自由結婚か……
三輪田元道、嘉悅孝子、菜夫人
小蘋女史天來の筆……
女囚の生活……
迷兒と棄兒……
女と小說……德田秋聲
オハナシ‖生命の水……巢鴨村人
子供の智慧……
小說「奴隸」……松本雲舟
芝居の女「世間の寅子」……大村嘉代子
婦人自活の途（ミシン刺繡）……
胃腸病者として我養生法 濱田新雲
料理の主眼……
家庭園藝叢談……千葉晚香
命令一下勵行せよ……
斜視は癒る……畑晴次郎
冬仕度三種……
主婦の手帳……
御大典奉祝として菊花科献立……
身の上相談……

時事

御即位禮

上下ひとしく御待ち申し上た曠古の盛典は、十一月十日の御即位大禮を初めとして、いと目出度始められました。之より先き十一月六日 聖上陛下には帝都を御發輦さらせられ、名古屋御一泊の後、大典御擧行地たる京都へ成らせられましたが、愈々十日になりますと、東京宮中に於ては午前九時皇靈殿及神殿に即位禮を行はせらるゝ旨の御奉告の儀がありましたが、京都皇宮内にては午前八時より、

△賢所大前の儀を春興殿に於て行はせられ、陛下には畏くも天祖の靈位たる萬世一系の皇位に即かせられし旨御告文を奏し給ひ次いで午後一時三十分より紫宸殿に出御まし〱高御座に登かせ給ひ群臣六官に龍顏を拜さしめ即位の事を宣告し給はれました。

△紫宸殿の儀に於て大隈總理大臣は一般臣民を代表せる壽詞を奏し萬歳旗の前面に立停まり萬歳を三唱しました。此時此瞬間日の丸の旗のつゞく限り、七千万臣民の住めるところ、一齊に萬歳は高唱され。聖壽の萬歳、皇祚の無窮を祈る聲は、天地を撼ふばかり

△國民の忠誠は遺憾なく發露されました。此日朝來全國の空曇りしが、午後御即位式の行はせらるゝ頃には靈光瑞雲天地を掩ふたのでございます。因みに此御即位禮には皇后陛下芽出度き御支障の爲め御參列遊ばされず御名代として朝香宮妃允子内親王殿下を御遣はしになりました。猶十四日は京都に於て大嘗祭を御擧行相成る筈、之より暫時は大典季節で日本全國民の敬虔なる血は湧き立つ事でございます。

◎勅語

十日即位禮當日紫宸殿の儀に於て賜りたる勅語左の如し。

朕祖宗の遺烈を承け惟神の寶祚を踐み爰に即位の禮を行ひ普く爾臣民に誥く

朕惟ふに皇祖皇國を肇め基を建て列聖統を紹ぎ裕を垂れ天壤無窮の神勅に依りて萬世一系の帝位を傳へ神器を奉して八洲に臨み皇化を宣へて蒼生を撫す爾臣民世世相繼き忠實公に奉す義は則ち君臣にして情は猶ほ父子のごとく以て萬邦無比の國體を成せり

皇考維新の盛運を啓き開國の宏謨を定め祖訓を紹述して不磨の大典を布き皇圖を恢弘して曠古の偉業を樹つ聖德四表に光被し仁澤遐陬に霑洽す

朕今不績を繼き遺範に遵ひ内は邦基を固くして永く磐石の安を圖り外は國交を敦くして共に和平の慶に賴らむとす朕が祖宗に負ふ所極めて重し祖宗の神靈照鑑上に在り朕夙夜競業天職を全くせむことを期す朕は爾臣民の忠誠其の分を守り勵精其の業に從ひ以て皇運を扶翼することを知る庶幾くは心を同しくし力を戮せ倍々國光を顯揚せむことを爾臣民其れ克く朕が意を體せよ

◎恩赦公布

朕大禮ヲ行フニ當リ普ク仁意ヲ布キ以テ朕カ慶福ヲ頒タムコトヲ念ヒ特ニ有司ニ命シテ恩赦ノ事ヲ行ハシム爾有衆其レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

御名御璽

大正四年十一月十日

各大臣副署

右公布と同時に減刑に關する件懲戒懲罰の免除に關する件、陸軍懲罰免除に關する件を制定され其施行を命ぜられました。

◎養老賑恤下賜

十一月十日養老並賑恤の儀に付左の通内閣總理大臣に對し御沙汰あらせられ養老の爲木盃並に酒肴料賑恤の爲金百万圓を賜りたるに付宮内大臣は内閣總理大臣に移して之れを施行せり。

御沙汰

耆ヲ存シ耄ヲ問フハ人ニ孝ヲ教フル所以ナリ惠ヲ敷キ恩ヲ垂ルルハ民ノ乏シキヲ濟フヨリ先ナルハナシ茲ニ登極ノ初メニ方リ祖宗ノ遺範ヲ紹述シテ養老賑恤ノ典ヲ行フ其レ有司ニ諭シテ朕カ意ヲ宣布セシメヨ

◎贈位されし人々

十日豐臣秀吉以下歷代の武將學者志士四百三十餘名に對れ御贈位の御沙汰がありました。中主なるものは贈正一位豐臣秀吉、贈從一位三條西實隆、山科言繼、贈正二位源賴義、源義家、日野邦光等でした。

◎叙勳位されし人々

十日叙勳の御沙汰あり中主なるものは澁澤男爵、奥田義人氏(授旭日大綬章)高木兼寬男、黑田長成侯(叙勳一等授瑞寶章)島田三郎、犬養毅、杉享二(叙勳二等授瑞寶章)尚實業家の叙位されしもの、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

主なる者は中橋德五郎(叙正四位)近藤廉平男安田善次郎(叙從四位)

◎女子敎育家叙勳

十一月十日大典に際し、多年我女子敎育に功勞ありたる前女子學院長矢島楫子(八三)女子美術學校長佐藤志津子(六五)山脇高等女學校長山脇房子(四九)女子商業學校學監嘉悦孝子(五〇)並に津田梅子(五〇)の五女史は勳六等に叙せられ寶冠章を授けられました。

◎二女史の叙勳

東京女子高等師範學校敎授佐方志津、同後閑菊野の兩女史は多年敎育事業に盡くされたる功勞を録され十一月五日勳六等に叙せられ寶冠章を授けられました。

◎旗と花の會

大典奉祝の爲六日家庭製作品奬勵會の催になれる旗の日會は十六七の宗敎團体及學校團体によりて約十四五万の旗を賣ました。其内最も賣高の多かつたのは白木屋呉服店前で旗賣二十二人の内多きは一人にて二千六百餘、最も少きものも約五百を賣つたさうです。尚十六十七兩日も大に活動せらる、筈です。又造花百五十万を九、十兩日にて賣上んと意氣込たる花の日會は市內二十餘箇所に支部を設けて大活動を試みました。日比谷、日本橋、昌平橋、帝國大學前、九段等は場所だけに賣れ行き非常によく殊に白木屋呉服店前は中央の事とて五十、百と纒まつての賣れ行きにて九日正午前には九千個を賣上た程ですと。

◎女子の入學を認む

大學令案討議の第五回敎育調査會特別委員會は十一月三日文相官邸に開催され未決條項を附議修正可決して後、前回に於て削除された委員の研究問題として殘された女子の大學入學問題は「女子の大學に就ては本令の規定を準用すること」と決定して結局女子の大學入學を認むるに至りました。

◎小學敎員表彰

大典當日全國各小學校敎員中滿三十年以上勤續者八百八十七名に對し文部大臣より賞狀並びに硯箱一個宛授與されました、東京府にては此名譽を擔へる者二十五名ある中に唯一人の婦人がありましたそれは目下京橋區泰明小學校訓導たる江せん子(五〇)女史です。

◎女子勳章佩用心得

今回の御大禮を機として宮中に參入する女子の勳章佩用心得が左の通り定められました。

宮中諸儀式祭典共に參列する女子にして大禮服、中禮服、通常服又は袿袴(禮服)を着用したるとき男子大禮服、正裝、小禮服、通常禮服又は禮裝に勳章を佩ぶる場合には勳章を佩用すべし(通常服を着用したる場合に在りては明治二十三年賞勳局告示第一號勳章記章佩用心得第七款の規定に依る)△袿袴(禮服)を着用したる場合に在りては同年の同心得第七款中大中禮服着用のときの例に依る△前項の規定は外國勳章佩用又は徽章の佩用に付き之を準用す。

◎遣露看護婦六名

日本赤十字社露國派遣救護班は明年四月迄滯在する事となりましたので今回更に事務員一名及左の看護婦六名を増派すべく本月廿六日東京出發の由。

伊東たまき(靜岡)武藤さと(佐賀)生澤たつの(鳥取)中馬みさき(鹿兒島)峰谷かつ(岩手)出淵千代(福井)

◎米國大統領の婚約

米國大統領ウイルソン氏は十月六日華盛頓社交界の花たりしノルマンガルト未亡人との婚約成り、來る十二月下旬華燭の典を擧げらるるとの事。新婚旅行は桑港博覽會見物をかねて同市に赴く由に傳へられてゐます。

女學校だより

▲即位禮當日の各女學校　十一月十日午後二時より各女學校は其他の學校と等しく、奉祝の式を擧げました。

▲女子大學の運動會　雨模様の空を危みながら七日午前八時より秋期大運動會は開きました。近衛軍樂隊の勇ましい奏樂に連れて「かりがね」「濱千鳥」等の舞踊的運動開始せられ、其業の熟練と鮮かさは觀客をして思はず感動せしめました。其他障害物競爭小學部の花電車或は御大典奉祝の意によつて新に工夫せられたる「御稜威の光」は最も重々しく行はれ觀る人をして慄然たらしめました。折り柄の相憎の雨にて當時三十分閉會を告げました。

▲家政研究館の建築　日本女子大學校では御大典を記念して櫻楓會員一同にて建設せんものと目下盡力中なり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の獨立

日本女子大學校學監　麻生正藏

△婦人の長所と短所

私は十數年來多數の女子を取扱つて參つた處から、どういふ觀察をして居るかと問はるれば、こう答へ度い。普通婦人は同情を表はし親切を盡せば、この人程賴るべきものはないと考へ、いかなる我をも曲げて、身命を捧げ、男子の配下に立つのであります。こゝが婦人の長所で、同時に短所であり、もし男子に眞心が無ければ、かやうな手段で罠をかける處から幾多の悲劇が生ずるので有ます。

△賴る杖を求める心

これは遺傳か境遇か、とにかく現在の婦人には、どこかに賴る杖を求める心が潛んで居るのと、またその天性として、情に厚く、智識の足らぬ爲に、觀察が不徹底であり、判斷を誤るのであります。然しこの性格がよく働けば、子供を養育し、慈善事業に盡瘁し、もしくは宗教に奉仕して、我が身を忘るゝ美はしい働きが出來るのであらうと思はれます。

△教育が高まれば

婦人のこの性格の長所を失はず短所を矯めるには、どうしても見識を高めて、獨立の判斷が出來るやうにしたいものです。日本の婦人は一と角の見識を持つて居るといふ者も、極めてつまらぬ質問をしますが、西洋婦人にはさういふ缺點の見出だされぬ處を見ると、教育が高まればよいには定まつて居ます。もう一つは婦人の生活が決して男子に養つて貰つて居るのではなく、子女の教養、家政の經濟等充分の働きをして居るので、寧ろ男子の報酬が足らぬ位であります。婦人はこの點を自覺して、養つて貰ふなどゝいふ卑下した考へを持たぬやうに、男子自身もし誤つた考へがあれば反省して矯正したいものであります。

△講演や書物で

なほ家庭を總攬する主婦は、殆ど外出の時間もありませんが、然し毎週一度は出られぬ迄も、少くとも一ケ月に一二度は務めて外出して通俗講演なり、何なりに出席したいものです。万一外出が出來なければ、雜誌や書物によるのもよろしいが、話を聞く方が生きた人格に觸れて、感化を受ける事も多いのであります。

△先づ方針を立てゝ

尙花の日、旗の日等、近來婦人が社會的に働くやうになつたのは喜ばしい事ですが、愈々寄つたお金を何處に持つて行かうかでは、餘り意味が乏し過ぎると思ひます。社會的運動の爲に止むに止まれぬ必要上から働くやうになれば、馬の先きに車を付けるやうな無方針になる恐れはなく、婦人自身にとつても社會心の養成になります。未だ日本の婦人で、かのシドニー、ウエッブのやうに、四年間も貧民窟に入つて、貧民と共に生活してその狀態を研究して、救濟運動を起したといふやうな、愛人の働きをした者の無いのは、確に教育上にも社會上にも、女子が社會心を養成する機會の乏いとを證明するのであります。

頭腦の基礎を作れ

女子學院學監　三谷民子

△年頃と勉強の効果

人間は一生學んで通らねばならぬと申しても、年頃によつて勉強の効果が違ふといふ事は爭はれぬ事です。婦人の爲にいかに大學の門戶が開かれやうとも、それに達する高等女學校の教育が今日のやうでは、婦人の頭腦は發達しかねます。裁縫、割烹、禮式等は大切な事ではありますが、若い間の多くの時間を費さずとも、後廻しにしてもよろしいことではないかと思ひます。語學、數學、理科のやうなものは、どうしても順序を踏まねばならぬ事で、即席料理には行き兼ねます。從つて女學校の教育には、もつとこれ等の學課に重きを置く必要はありますまいか。

△教へ方一つで

女子に數學は適さないといふのは、私は疑問だと思ひます、私の學校の生徒で、數學が不出來でどうしても進級させられないと云つて教員會議に上つた者がありましたが、私は受持ちの教師に賴んでどうかもう一學期待つて下さい、そして數週間初めから解き直して見たいからと申しました。そ

の後毎日一時間宛二三が四からやり直して見ますと、ズン／＼上達して、次の試験には八十五點を得て立派に進級しました。そして今では或幼稚園の主事をして居りますが、その時の事を德として折々の音信を怠りません。

△一生に讀む書物

かやうな事を見ると、教授の方法に就ても大分反省しなければ、女子の頭腦がどうのと論ずる事は出來まいと思ひます。自分の經驗を省ても、學生時代に數學と歷史を殊に好みましたが、數學は卒業後教師に就く事がむづかしくて困難しましたが、歷史は恩師ミリケン女史が、私のまだ十六七歲の時「あなたの一生の間にこれ丈けの歷史を讀め」と申してくれました。その後日本で手に入らぬものは西洋から取寄せて、年々幾冊かを讀み、讀終ると感想を記して置き大晦日には靜にこれを繰り返して見るといふやうにしてやつと三四年前、その書物を讀了しました。これはよい指導法と思つて、私は今生徒にこの方法を移して居ります。

△流露する情緒

今から考へれば、私共は西洋人から餘程理想に近い教育を受けまして、習字や裁縫や禮式は餘りやかましく申されませんでしたが頭腦の發達と、美くしい情緒を養成し、之が、自然に流露して參り夏休みなどには、弟妹の爲に自分で着物を縫直したり、張り物をしたり、料理をしたりする事等を一つの樂しみにする事が出來るのでありまする。

噂

▲男爵に成と云ふ噂の森村翁は敬神の念の深い人で、此頃でも毎朝聖母マリアとクリストの額の懸かつた密室に閉ぢ籠つて祈念をこらされるさうですが、翁の母堂が姙娠中、朝夕觀音經を讀誦して生んだ子が即ち翁ださうで、さてこそと肯かれる▲藝者奉祝排斥演說會で、浮田博士は日本人は戀愛を知らぬ國民である實はさういふ私も知らぬのだと言はれたので滿場拍手喝采しました▲六日の旗の日會に神樂坂で十三四の奇麗な少女がさも氣まり惡さうに「旗は入りませんか」と蚊の鳴くやうな聲で言ひますと、其側で腕白盛りの六つ位の男の兒が、「旗を買はないと叩きなぐるぞ」と大きな聲で云つてゐました。

(一八一)(評)

矢島楫子

▲十七八年前私がまだ中學に居つた頃、矢島楫子さんと潮田千勢子さんの演說をよく聽いた事がある。二人とも御婆さんにしては中々雄辯家だナ偉いものだと思つた其時の相棒であつた千勢子さんはもうとつくに天國の人となつてしまつたのに、楫子さんはいまだに矍鑠として働いてゐる。なにしろ今年八十三歲の御婆さんが婦人界の大立物として働いてゐられるかと思へば、實に驚嘆に値ひする。大隈伯が七十幾つの高齡で、首相として活動してゐられるのを、世間では彼是れと持囃しますが、それよりも五つ六つ姉さんである矢島さんの大活動に留意する者の尠ないのは遺憾である。

▲兎に角矢島さんと大隈さんといふ天保生れの男女が明治を通り越した大正年間の大立物になつてゐるとは天下の驚異である。殊に早衰し易い日本婦人の範疇を超越した矢島さんの精力は唯々舌を卷いて驚くばかりである。

▲女子學院を去つた當時世間は矢島さんが根據地を失つたので隱居して閑日月を送るべく余儀なくされたものと解した。然に結果は全く豫期の反對で、益々その社會的活動に勢をつけたのである。廢娼運動！之れは矢島さんの古くからの主張であつたが、女子學院長としては其の活動に制限があつたが、今や自由に活動して居られる。下田歌子さんが學習院といふ舞臺を去つて殆んど世に忘れられんとしてゐるのと較べていかにも善い對照である。目的は人を活すといふが廢娼といふ目的は矢島さんの不老不死の秘藥である。

（くも）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

媒介結婚か自由結婚か

此頃は結婚季節である上に、殊に今年は御大典に因んで結婚する向が多いやうですが、在來やつて來た媒介結婚にも種々の弊害があつて、高砂を歌つて間もなく破鏡の嘆きを見るやうな實例が多いやうです。それは多く無責任な媒介口を信頼した爲めでありますが、さういふ弊害を矯正するには、自由結婚でなければならぬかどうか、それに就て識者の說を徵して見ました。

媒介の德義

文學士　三輪田元道

▼德川時代の媒妁人

德川時代の結婚は、親戚同士であるとか、同鄕同町内の男女間に行はれたので、當事者がお互に相手の性格趣味等を知り合つてゐる場合が多く、其處へ出雲の神の緣結びと云ふ態度で媒介人が仲に這入つたから、非常にうまく行つた其處に親切がこもつてゐたから媒妁が第二の親とまで尊ばれたのです。賴む方も賴まれる方も本氣の沙汰であつたのです。

▼無責任な今の媒妁人

處が、兎角面倒な事を避けたがる現代の人々は、成可く面倒な勞を省きたいと云ふ心から、某の娘の婿の世話を賴まれたが、某の息子なら、當事者の柄も親達の位置も似合つてゐるから善いかも知らぬ位な考へで、深く双方の人物、經歷を知らず、隨つていゝ加減な事を云つて押つけて終ひ、先づ役逃れをしたと云ふ樣な不眞面目無責任な事をするから、後日、媒妁口と事實とが非常に違ふので破鏡の悲劇を見るに到るのが多くあるのです。

▼娘の名も知らぬ媒人

私の知人の結婚披露の宴に於て、其媒妁人が演說をする時、嫁君の名前が名字の如く見えるのであつたが、媒妁人は平氣で最初から終りまでそれを名字にして了つたので、滿座ヒヤ〳〵して汗を握つた事がありました。これ等は隨分無責任な話であるが、更に嫁婿の家も知らず本人の顏も知らずに媒妁をする不眞面目な者さへ尠くありません。

▼自由結婚に赴くか

昔の人は迷信的に、一生に三組の媒妁をしなければならぬと云ふ一の社會道德を認めてゐたが、今の人が此を認めなくなつたと假定したならば、結局自由結婚にしなければなりませぬ。而し自由結婚は我國の現狀では容易に認め得ざる事であり、識者も之を否定してゐるのですが、結局何ちらかへ赴かねばなりませぬ。

▼一つの德義と認めて

かく考へて來ると將來吾國の結婚制度は大に硏究され革新されねばなりませぬ。即ち在來の媒妁人制度の美點を發達進步させ、忠實に媒妁する事を一の德義と認めるやうになればよいのです。人の子の一生を幸福にするか、闇にするかは結婚にあるのだと云ふ考で愼重にやらなければならない。彼の營利的な結婚媒介所など云ふものが親切に眞面目にやれるものではないのであるが、尙かゝるものが世に存在するのは、社會制度に缺陷があるからであります。

▼互に知り合ふ機會

私は第一嫁たり聟たる人がお互に相手を知つてゐて貰ひたいと思ふ。私の知人に新婚旅行先で嫁君の皮膚病に氣が付いて嫌になり到頭離婚するに至つた人がありましたが、これ等は結婚前お互の長所短所を知らなかつた爲です。故に寧ろ長所よりも短所を知り合つて、彼れには之れ〳〵の缺點があるが、猶一生を共にするに足るとまで知り合ひ信じ合ふ事が必要です。媒妁人たるものはかゝる理想を以てお互に人柄を知り合ふ機會を作る事を、一の德義であると心得て戴きたいのです。

▼最も重大な問題

一体、世人が媒妁と云ふ事を割

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

合に輕く見て、媒妁人の口車に乘せられて失敗し悲境に陷つたものをも對岸の火災視してゐるのが不思議です。之れは醫者が診察を間違へて人命を損ふ場合と同等以上に重大な事で、純潔なる青年男女が前途をあやまり、精神的に死を遂げるなどは、多く此處等から起るのであります。故に媒妁人は、醫者の如く罰則はないけれど、自ら愼み最も眞劍に眞面目に責任を以て爲て貰ひたい。

媒妁の經驗

嘉悦孝子

▼却々氣に入つたのが無い

私は媒妁人の親玉でゞもあるかの如く思はれてゐますが、私の撰擇が六ケ敷いので、實際お世話するのは一年に一組か二組です。お嫁さんでもお婿さんでも、自分の嫁だつたら婿だつたらと思つて撰擇しますので、却々氣に入つたのは見當らないのです。其代り一度貰へば不足は云はず、十年でも二十年でも、立派なものになるまで導かうと努めます。だから私に嫁探しや婿探しを賴むと一年も二年もかゝらねばお世話出來ないのです。が必ず立派なものを世話するつもりです。

▼私の求むる婿と嫁

婿としてどんな男子を求めるかと申せば、學者でなくても、さう腕のある者でなくても、唯眞面目に働く人をほしいのです。只これ丈の註文ですが中々見當らないの

はどうしたものでせう。お嫁さんの方は、一口に云へば氣持のよい人をほしいのです。身体の丈夫な忠實に働く、出しやばらないで氣の利いた、何でも知つてゐて何でも出來て、高ぶらぬ人がほしいのです。

▼一番成功した結婚

今日迄お世話した緣組の中、最もうまく成功したと思はれるのは當人同士が長い事交際し、私と一所にカルタを取るとか芝居を見に行つたりした男女でありました。世人はカルタ會等は惡いと申しますが、私共が監督の下に行つたカルタ會では、お互に交際をする利益こそあれ決して之が爲に身を誤つたなど云ふ事はありません。

自由が理想

某夫人談

▼極く低級な自由結婚

現在の日本で、自由結婚の結果があまり善くないのは事實のやうですが、それはどうした譯でせう。自由結婚をした夫婦は、結婚せぬ前に、既に好奇心を失つてゐるためではないでせうか、もつと露骨に言へば、低級な自由結婚で、夫婦でなければ爲すまじき事まで、結婚せぬ前にしてしまつた事が原因をなしてゐるのではないでせうか。即ち約婚と結婚との區別が眞實についてゐないためでありませう。眞正なる意味の自由結婚ならお互に其の人格を尊敬して、男女間の禮儀を守り、智識を交換し、品性を磨いてゆく所に、無限の興味を持ちますので、結婚後は尚一層愛が深くならなければならぬ譯です。日本で自由結婚の結果が惡いといふのは、取も直さずまだ眞正な、自由結婚が存在しない證據であります。

▼約婚時代の興味

兩親や媒介人が他動的か強制的に推しつけてくれた妻又は夫よりも、自ら探すと云ふよりも自ら發見した妻又は夫の方が善いとは、常識に訴へて解ることです。何事も自ら發見する所に、無限の興味が湧いて來るのです。勿論自由結婚でも、社會上の秩序を保つために媒介を立てる必要はあります。併し互に自分の眼識を以て選ぶ所に人生の面白味があるのです。夫婦になる迄と夫婦になつてから孰れが樂しきかといへば、實際深い經驗のある人ならば、夫婦になる迄と答へるでありませう。夫婦になるまでの清淨な約婚時代、それは人生の尊い經驗でありまして、それを知らずに仕舞つた男女は不幸といはねばなりません。併し正宗の刀は危ないやうに、自由結婚は一歩踏み迷うと中々危險の伴ふことを覺悟せねばなりません。現在の日本では、兩親や媒人が此男とこの女なら夫婦によかろうと見定めて、結婚する迄、半年なり一年なり、或る程度の自由を許して交際させる位の所が先づ以て安全な途でせう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小蘋女史 天來の筆
風俗歌屏風完成の苦心

去る六月廿六日、大禮使より大嘗祭悠紀地方風俗歌屏風の製作を囑托されたわが閨秀畫家野口小蘋女史は、去月十九日目出度く其任を果されましたが、其後兎角病弱なる女史は、神經にリウマチスを患て目下病床に親しんで居られます。女史が最も名譽ある製作を完成するまでの苦心は、未だ世に傳へられて居りませぬが、記者の伺ひ知れる處を記して、女史の苦心を永く世に知らせたいと思ひます。

△五十日の齋戒沐浴

女史が愈々此大任をお引受けするまでには幾度辭任されたか知れませんでした。けれども大禮使の委囑止みがたく遂にお引受けいたし、八月の卅一日天長節の佳辰に筆をとり初るまでに、夏の眞さかり、悠紀地方の實地視察をなされたのでした。麹町内幸町の住宅八疊と十疊の二間を打通して、九尺に一丈八尺の六曲屏風を、新しき板、新しい布を敷いた上に横たへて、身體を清め衣服を清淨にした女史が、夜分は五十燭の燈光をたよりに、日に夜をついで筆を運ばれました。

丁度五十日間、畫室に入るものは女史の良人と令孃と小間使とのみ、他は殆ど家人と雖、出入を禁止されました。『心持ちは注連を張つてゐたのです』とは女史の良人の言葉であります。

△靈感筆端に溢る

繪は春夏秋冬に別れ、春は櫻田夏は衣ノ浦の新樹に波、秋は龜崎の月、冬は矢作川の千鳥と云ふので、此四つを六曲の中に配置よく描き出す。其筆は日頃女史に見る描き方と異ひ、大和繪風の南畫と云つたものでございます。もとより誰のものを參考にすると云ふではなく、總て女史が實地視察して腦中に納められた靈感を筆にしたものでありました。

女史が最も苦心されたのは、絹では保存に堪えぬとあつて、鳥子紙に揮毫されますので、宮内省より特製の鳥子紙（巾三尺丈九尺）を廻されましたが、繪の具に斑が出來て非常に心を痛められました。女史は此一事を大變心配されてゐるさうですが、大禮使の方でも、紙の滲具合がうまくゆかなかつたのだからと此點は認容されてゐるといふ。此外小蘋女史が日頃蒲柳の質である丈執筆中病を起す等の事ありてはと女史の心配は勿論、家内の人の心配は大變でありました、が、幸にも此の不朽の傑作を完成されたのは女史のみの喜びではありませぬ。

女囚の生活
恩赦前八王子監獄を問ふ

御大典に際し、畏れ多くも恩赦の御沙汰仰出だされるべしと噂されてゐた頃、記者は府下八王子町に女囚監獄を訪れて、憐むべき女囚の近狀を問ひました。

目下の在監人員は百六十名程であるが、其中には浦恥づかしい十八歳から廿歳位の娘が十六人、五十歳前後の老婆が五六人あり、殺人強盗など恐るべき大罪を犯した無期徒刑囚が五人あるとの事。これ等の中毎月平均五六名宛放免されるさうです。

△女囚の日常

彼等の日常生活は什麼んなものであるか。それは決して、時々新聞などに現れる樣な樂なものではない。此の頃は朝六時と云ふに起床して、朝飯を濟ますと、七時から作業にかゝる。仕事の種類は主として機織で、麻つなぎなどが之に次いで居ります。十一時半から卅分間の晝休みに、食事をすますと手足を伸ばす間もなく、又仕事に取りかゝり四時に終ります。其の間一定の量の仕事は必ず爲さしむるやう強制されますから、自然怠け者も漸次勤勞の風を養ひ得るのです。

△女囚の健康

『夜は八時に就眠させます。これは甚だ優遇の如く見えますが、多數の囚人の事とて監督其他事務上

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

より止むを得ないのです。又總ての方面から囚人の健康に注意してゐますから病人は甚だ少く體量は皆十二貫以上あります。よく獄則を守り他囚の模範たるものは表賞され、時には假出獄の恩典に浴するのです、』と松野分監長は語られる。監房内の役人は總て女で、男子は絶對に入れません。女囚は女の教師から讀書習字算術修身等を教へられ、女の教誨師から佛の慈悲を説き聞かされる。全く無學文盲のものは悔改めて善心に立返る事、却て生半可文字ある女よりよいさうです。

△兇囚を保護せよ

「切角善心に立返つて世の中に出て行くと世間の人々は素より親兄弟までが前科者として爪はじきする。それが爲めに心ならずもまた惡事を働くに至る事が甚だ多いのは遺憾です。罪人とて生れ乍らにして罪の子ではない、成育不良や家庭が惡いのや、小さい時から奉公に出されて心のゆがんだ結果、善惡の差別さへ別らず、遂に法に觸れ、罪せられるに至るのです。されば社會の人々がもつと／＼彼等に同情を持ち、彼等を保護するやうにして貰はねば、益々罪人は多くなるばかりです」係う云ふ分監長の言葉は、恩赦によつて多くの兇囚を迎ふべき世の人々のよく味はねばならぬものでありませう

（十一月八日記、娑）

迷兒と棄兒

生活難で益增加

十一月から翌年二三月迄、凩の吹く寒空に、父母を想ふて泣く迷兒、棄兒の數が多くなります。今東京市養育院について統計的の調査を訊ねまずると、

▽最近十年間に於ける迷兒增減

年度	入院	出院	逃亡	死亡
明治卅七	一二八	六六	一〇	五
仝卅八	一二一	九六	三五	二
仝卅九	一二五	八一	三五	五
仝四十	一五三	一〇三	三九	七
仝四十一	一九二	一四六	四一	四
仝四十二	一三六	一三〇	二四	一
仝四十三	一四七	一〇六	四〇	二
仝四十四	一四三	七九	三六	四
大正元	一八八	九六	四三	七
大正二	一五七	七八	四五	一〇

と云ふので十年間に於て甚だしい増加を示して居ります。尤も此數字の中には事實上の棄兒が大分混合してゐる。純粹の迷兒で、親が探しに來て連歸ると云ふ樣なのは甚だ少ないのです。逃亡者が多いのは、迷兒になる位のものは一種の漂泊性を帶びてゐる爲めに窮屈な養育院内に生活する辛抱心がない爲です。逃亡癖の最も甚しいものになりますと、春秋には一度宛逃出す子供がある。十八歳ばかりの男子で、秋口袷でも着る頃になると、ふいと逃出して了ふ、別に何をするでもなく、近所の野原に野宿したりして、愈々困ると又ふと歸つてくる、どんなに云つて聞かせても直ぐ忘れて逃亡を企てる。勿論女子の逃亡するものは殆どないさうです。

▽最近十年間に於ける棄兒增減

年度	入院	出院	逃亡	死亡
明治卅七	一〇四	五四	二	三六
仝卅八	一一八	四七	三	三六
仝卅九	一一〇	五	五	三七
仝四十	一二二	四八	五	五六
仝四十一	一六三	五三	一四	五二
仝四十二	一五二	七二	二	二五
仝四十三	九九	六四	四	三二
仝四十四	八八	五七	六	二九
大正元	一一六	五八	三	四四
仝二	一三三	五三	六	四三

棄て兒の方は幼いのと、全く親が知れぬ爲め逃亡するものは甚だ稀です。全體の上から見て、十年前と今日では殆んど倍數に達して居りますが、之れは生活難が益々甚しくなりつゝある反證と見られます。

此等の哀れな兒童は院内で小學課程の教育を受けます。そして確實な雇主があると預けられますが其の成績は可成り良好ださうです然しながら世の中へ出ると「あれは養育院から來た兒だ」「親なし兒だ」と云はれるので彼等の小さい心はどんなに苦しめられるか知れません。かうして何時までたつても此端しない境遇から逃れて、明かるい世の中に浮上る事が出來ませんのはこよない不幸ではありませんか。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女と小說

德田秋聲

▽感情の訓練

小說を讀む可否など、云ふ事について、敎育家などが論ずることがあるが、私等の考へでは小說は讀まねばならぬものではないと思ふ。然し女に感情の訓練と云ふ事は必要であるから、此感情の訓練をする爲に小說を讀む……と云ふことは普通の女の務めてほしい所である。更にもつと深い思想を養ふとか、人生を知ると云ふ樣なことの爲に高級の藝術を味はふと云ふのは一歩進んだ人々に望まなければならないことです。

▽高級藝術を讀め

今の日本の女は概して餘りに感情の訓練が足りない。例令ば戀愛と云ふことについてゞも、どうも幼稚である。此訓練をするには男女の交際と云ふ事も必要で、生活を面白く愉快に豐富にするやうに務めねばならない。音樂だの文藝だの云ふものは其の爲に存在するもので、小說の高級なものを讀み味ふと云ふ事も必要になつてくる

▽學校丈では不可

色々な世間の事を知り、物事を批判する眼を養ふことは、今の學校敎育丈では駄目である。實際に打突るとまごつく事が出來て來る勿論、小說がこれ等の知識感情の總てを養はせるとは云へないけれど、少くとも、感情上の訓練は行はれ、自ら反省する心の餘裕も出來てくる。而しこれは讀むべき小說の種類にも依るのです。

▽所謂家庭小說

今時流行る家庭小說などは、總てがつくりもので極低級の讀者を滿足させるに過ぎない。一体家庭小說は所謂新派の芝居に合ふ樣に作られてゐるが、此新派芝居なるものが其の發足點が低く、今日では一の型に嵌まつてゐて、現代の生活とは交渉がなくなつてゐるのに家庭小說作家が之を眼中に置いて書く〳〵云ふ弊があるから隨つて其日々〳〵の興味だけで、本當の生活に觸れてゐない。

▽不如歸と無花果

「ほとゝぎす」などは相等に根底のある方で、春雨君の「いちゞく」其他なぞも流石に深みがあるが、所謂家庭小說に至つては感服出來ない。高級藝術ほど人生の暗面も書かない丈け、それ丈け淺薄でつまらない。そんな小說は讀まない方がいゝであらう、所が今迄の女は小說でも芝居でも、泣かされるのを以て最も實があるとか深いとか云ふ位で、本當の藝術は判つて居ない。而しだん〳〵進んで來た事は事實です。(談)

生命の水

(二)

巣鴨村人

山の谷間には例の一寸法師が居りまして、三男の王子に向ひ「若樣、何處へゆきますか」と言ひますと、三男の王子は「生命の水を探しにゆくのです。私のお父さんが大變な病氣で、死にさうなのだから、叔父さん、あなたは何か病氣を直す方法を御存じないですか」と言ひますと、一寸法師は「それは生命の水を見つけるに越したことはないが、若樣は其の在りかを御存じですか」と尋ねました。王子は「いや、知らない知つてゐるなら、叔父さん敎て下さい」と言ふと、一寸法師は「あなたは丁寧に私に尋ねなされたから、これから何處へ行つたら善いか、お話仕やう。あなたの求めなさる生命の水は魔の城の井戸から湧くのです。あなたがその城へ無事に行かれるやうに、鐵の繩とパンを二片、差上ませう。その鐵の繩で、城の鐵の門を三度叩くとその門が開きます。門の中には、二匹の獅子が腹を空して餌を求めて口を開いてゐますから、パンの片を投ておやりなされば、無事に獅子の側を通れます。それから急

いで井戸の側へ行つて、時計が十二時を打つ前に、生命の水をお取りなさい、少しでもぐづ／＼してゐると門が閉まつてしまつて、あなたは城から出ることが出來ません」と敎へました。

そこで王子は、一寸法師へお禮として眞赤な上衣を脱いでやりました。さうして鐵の繩とパンを貰つて、海を越、山を越えて旅をしましたが、何にもかも一寸法師が敎へた通りでした。城の門は鐵の繩で三度叩くと開きますし、又獅子はパンをやると、おとなしくしてゐましたので、王子は雜作なく城の中へ入つて、美しい部屋へ通りました。

其部屋には美しいお姫さまがゐまして、嬉しさうに王子を迎へてくれました。お姫さまは「私はまじなひに縛られてゐますから、どうぞそのまじなひを解いて下さい。さうすれば、この王國はあなたのものになりますし、又私はあなたの奧樣になります」と言ひました。それから又王子に、生命の水のある御殿の庭を敎へてくれ、それから時計が十二時を打つ前にお歸りなさいと言ひました。

王子が美しい庭を歩いてゆきますと、樂い木蔭に腰掛けがありましたので、草臥たから、暫らく休んでゆくつもりで、ごろりと横になりますと、うと／＼と眠くなつて、時計が十一時半になるまで前後を知らずに寢入りました。

子供の智慧

回私を造つた方

ある日曜學校で、女の先生が小さな子供達に向ひ「あなた方をお造りになつたのは、神さまです」と敎へました。その次の日曜に、女の先生が「あなた方をお造りになつたのは、どなたですか。覺へてゐる方は手を擧げで下さい」と言ひますと、五つになる文ちやんといふ女の兒は手をあげましたが八つになる健ちやんといふ男の兒は手をあげませんでした。先生が文ちやんを名指しますと、文ちやんは廻らぬ口で「神ちやま」と答へました。そこで先生が「年の少ない文ちやんが覺へてゐるのに、年の多い健ちやんは覺へてゐませんでしたのね」と言ふと、健ちやんはだしぬけに「先生、文ちやんはまだ神さまに造られて間もないから忘れないのでせう。僕はもう餘程經つたから忘れちやつたんです」と答へました。（絹子）

●◎◎◎投書歡迎◎ どうぞ面白い話を御投書下さい。

新刊紹介

◉愛の爭鬪（岩野清子著）

清子さんの此の僞らざる日記を讀んで、岩野氏と同棲してから夫婦になるまでの經過や其の內的事實などは誰でも知りたいと思ふ所であるが、惜しいかな、さういふ部分は筆が想ひのほか省いてある。「斷然岩野氏に許さう」といふだけで、少しも其の內容が書いてない。岩野氏が清子さんを我がものにしてどう變つて行つたか、又清子さんが岩野氏に凡てを許してどう變つたか、もつと精しく書く必要があるやうに思ふ。唯「岩野氏」と呼んで來たのを、「君」と書き改めた位の變化では物足りない。この日記を讀んで、一番面白く思つたのは、文壇の裏面がよく解ることである。恰度一葉の日記を讀んで、當時の文壇を窺はれるやうに、此の日記には、少くとも現在の文壇の半面がよく現はれてゐる。清子さんの愛の爭鬪それは清子さんの全生命に相違ない。又他から冷かに見ても、現在では興味ある事件に相違ないが、半世紀も過ぎれば、或は忘れられてしまうかも知れぬ。併し文學史上明治より大正に渡れる日本文學の裏面史として此書は確に價値ある史料の一つとして永く保存せらるるであらうと思ふ（定價一圓二十錢小石川雜司ヶ谷二番地米倉書店出版部）

◉夕ばえ（野口精子著）

基督敎界に輝く女詩人の詩集である。眞珠の如き光が紙上に溢れてゐる、其の二三を記せば

汲み置きのたらひの水に白雲のしづかに浮きて秋の來たりぬ

かき抱き死なさじとこそ七年は强かりしかな涙の力

ちらほらと白梅かほる曉の目さめ清くも春は來にけり

星ながるその瞬間に胸底にひゞくものあり大なるかな

帝王の驕りならねど我歌に不老の奇藥はしき春かな

裝幀また內容にふさはし（定價七十錢京橋區尾張町警醒社書店發行）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説　奴隷（其二）

松本雲舟

四

「私は是非あなたにお打明けせねばならぬ事がありますのよ」と敏子は唐突に言つたので、政雄は吃驚して歩みを留めて、敏子を見やつた。

二人は更ゆく秋に憧がれて井頭辨天の池の邊に來てゐた。

「打明ける事つて」と政雄は訝かつた。「二人の間に、秘密などはない筈でせう」

「えゝ、ない筈ですけれど」と敏子は、澄み渡つた水に深く遊んでゐる尺に餘る鯉を眺め入つた。

政雄は敏子の横顔のなんともいへぬ美しさに見惚れながら、

「言ふてごらんなさい。氣になるから」

敏子は暫らく答へやうともしなかつたが、やがて政雄の顔を盜み見るやうにして、

「怒つてはいけませんよ。……でもお怒りになると怖いわ」と遁げ出しさうな風姿をした。

「怒りません」と政雄は眞面目になつて

「私は、常に人生を眞劍に見てゐますのでいかなる困難にも堪へるだけの心の準備が出來てゐます」

「そんな事を仰しやると、尚話惡くなるわ」と敏子は萎れた。

「では、默つて聽きます」と政雄は笑つて「さあ、お話なさい」と敏子の顔を覗き込んだ。

五

「では申しませう」と敏子も眞面目な態度になつた。顔は上氣して紫がゝつて赤かつた。「私は今まで濟まない、すまないと思ひながら……」と口籠る。

「うん……」と受け答へた政雄の胸は動悸が激しかつた。

「すまないとは思ひながら」と敏子は語を次いだ「あなたの御要求を避けて來ました。けれど、もう避け切れなくなりましたので、今日あなたにお願ひして、此處へ連て來ていたゞいたのです」

「さうでしたか……」と政雄は敏子から珍らしく次の日曜には何處か郊外へ御一緒に行きたいと言つて來た手紙の意味が初めて讀めた。

「實は、私には、心の奥の奥にしまつてある一つの想ひがありますのです」と敏子は言つてしまつて、自分ながら驚いて倒れさうになつた。政雄は敏子の背に手を觸て體を支へてやつたが、宇宙の神秘が凡て悟れたやうに、

「それで全然解りました」と叫んだが、その顔は蒼白かつた。

「どうぞ、許して下さい」と敏子は政雄に體を支へられながら、よゝとばかりに泣き頽れた。

政雄は冷水を浴びせられたやうに、惡寒を覺へて、敏子の傍を離れて、二三間離れた大きな杉の根に腰をかけた。敏子は池の端で、身を屈めて、袂で顔を隱して泣いてゐた。敏子の背中は、激しい感情の波に高くなつたり低くなつたりする。政雄はその全心全靈を捧げて愛してゐるこの娘の胸の裡に他の人を思ふ心があるのかと思ふと、不思議でならぬのであつた。今まで自分に對して水臭い所があつたのも、全くそのためである。自分の愛情を受け容れながら、そ

— 42 —
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れを弄んでゐたのかと思へば、彼子に對して憎しみの念が起らぬ譯にはゆかなかつた。けれども、現在その事を自分に打ち明けて泣き濡れてゐる彼子を見ては、憐みの念がむらむらと起つた。鯛が水の上に二三尺跳ね上つて大きな音を立てた。

芝居の女

「世間」の寅子

▲戀人をも捨て、

帝劇十一月興行の「世間」は、中村吉藏氏の作で、寅子といふ娘は、父が容色の衰へた母を離別して、藝者上りのお糸を後妻に直したのを苦しく思つて、お糸の待合入りを覗ひ、父に現場を押へさせて、母お清の復縁を謀りますが、父は嫉妬心深きお清を入れて、またもとの陰氣な家庭に引戻される苦しみを思つて、立去らうとするお糸を呼びもどします。寅子は父も許した戀人をも捨て男といふ者は頼みにならぬ者だ、此からは一人になつて世間の味を嘗めて見やうと云つて、皆の引止めるのを振切つて、何處ともなく立去るといふ筋。

▲理解の在る所愛あり

舞台で見た所では、お清と進平との間には理解がなくお糸と進平との間には低級ながら理解があります。理解はやがて愛である事も寅子程の女に判らぬ事はありません。お糸は寅子の戀人庄吉が除隊後牧場を經營するのを汚い仕事だと云つて、もつと奇麗な職業に就てはどうかと云ひます。その時寅子がお糸に向つて云つた詞には庄吉に對する充分な理解があります。庄吉もよく寅子が判つて居ます。何故よく理解して居る庄吉迄も捨て、寅子は家出をしなければならなかつたのでせう。父とお糸とに反抗して家出をすると云ふのなら判つて居ますが、どうも世間の男の心を理解する事が出來なくつて家出をするには、寅子は餘りに庄吉を理解しすぎて居りました。

（大村嘉代子）

婦人自活の途

ミシン刺繍

▲日本人はミシン刺繍を好む

西洋人は手縫刺繍を稱美するが日本人は却てミシン刺繍の方を好む傾向があります、布呂敷、ハンケチ、半襟袋物などの實用品から額面の如き美術品まで裁縫機械で立派な刺繍をします。現在では寧ろ需要の方が多いのですから、之を仕事として自活し得る事は慥です。然し他の仕事の如に無一物では取かゝれません。

▲半年の時と百圓内外の資金

先づ腕を作る爲に師匠につきます。東京ではシンガーミシン會社（有樂町）を主なるものとして個人教授の師匠もあります。芝泉岳寺際の芝シンガー裁縫院では夫人令嬢方に家庭的に教授して居りますが普通の實用品を製作するには三箇月位、美術品までやらうとすれば半年位習はねばなりません。其れまでの費用としては、一箇月材料（五圓）月謝（一圓五十錢）ミシン損料（二圓）宛を要しますが、愈々ミシン刺繍仕事をして生活しやうとすれば、ミシン一臺現金百圓内外月賦百二三十圓（最初十圓、毎月四圓）位で購求しなければなりません即ち百圓近くの資本を掛けねばならないのです。

▲二三十圓の月收はある

かうして腕が出來たらミシン刺繍加工品取次店と關係をつける。小石川區須賀町小島、代々木五四七淺井、日本橋小傳馬町喜多、麹町有樂町一の三鹿兒島、芝區田村町佐々、本郷眞砂町長尾、日本橋蠣殼町鈴木などは先づ確實な取次店でせう。かゝる店から品物を出してもらひ、それにミシン刺繍をいたすのですが、風呂敷だと、一日四十枚位仕上得るから、一枚四錢内外、一日一圓内外の工賃に當ります。此の外ハンケチ、半襟、袋物など時節によつて相等の仕事がありますから月二三十圓の收入はございます。更に弟子に教授しつゝ賃仕事をすれば益々發展する事も出來ます。要は其人の努力如何によると申せませう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃腸病者として余が養生法

薄田斬雲

△胸がやける

胃腸病者に第一の難關は胸がやける事です。胃が酸を過度に分泌する結果です。之に對しては、結晶重曹が一番好い。達者の人は大根おろしなど用ゐるが、胃の弱い人の胸のやけるのは、同時に不消化を伴なふから量の少ない重曹の方が好い。所が世間では、重曹が大害ある如く考へて、我慢のなる限り、藥品を用ゐぬ人があります。其處で、重曹の餘害と、酸の爲に胃壁を害せらる丶不利とを比較すると、重曹を用ゐる方が好い。其證據には、胃の潰瘍に罹る人は絶ず重曹を服用して酸を中和します。酸がない所へ重曹を用ゐては、害が多いだらうと思ふが、酸を中和した時、重曹も中和して了ふ。私は二日に一度位重曹を用ゐたとて決して其餘毒の爲に大害を蒙る如き事はないと思ふ。

△最も手輕な便泌療法

私は十年餘も十五錢のスポイト一つで便泌を凌いだが、之が常習便泌の處置として最も簡單です。但リスリンや藥石鹸など用ゐると後で氣持ちが悪いから、体温位の温湯を用ゐるのです。私は腸窒扶斯の後、悪症な便泌になつて、十年餘も毎日早朝此のスポイトの灌腸をやつたが、まだ餘害を蒙つた様な自覺がありません。坐藥もやり、カルヽス泉鹽、舍利鹽なども用ゐたが、內服下劑は、爲に胃や腸を暴風一過の氣持ちで恐ろしい。スポイトで温湯一合も灌腸すると、大抵樂に通じます。

△下痢の療法は殼麥

常習便泌の人には、能く反對に下痢が來ます。勿論烈しい時は醫者の手にかゝりますが、夫れにしても、腹部を暖める事は下痢に一番利く様です。日露戰爭の時、臺灣で、百人長が烈しい下痢に罹つたのを、軍醫に知れると避病院送りと、手が廻らなくて死亡と云ふ段取り、其時、子分の者共が、之を秘して代る〲、熱い飯や熱湯の罐で暖めて、藥を用ゐずに直したと云ふ話があります。後で見ると腹が全部燒けどした人の様になつて居たと言ひます。私は下痢すると蒟蒻を四つ買はせて、火鉢へ鍋をかけ、二つづゝ熱くして取り替へ〲手拭で包んで腹へ當てる之が一番利く様です。所が此夏海岸で下痢を起した時、醫者は、殼麥を煮て水を切つて袋に入れ、夫れを腹へ當てさせました。冷たら又煮て用ゐる。之は蒟蒻の様な異臭がなくて仕末が好かつたのです。尚痔が起つた時には、細長い袋へ此殼麥の熱いのを入れて、褌にすると一番具合が好いと云ふことです。

△便所の改造工夫

大便所で、踏むと、痔が一層悪くなる。其處で踏まない工夫ですが、私は西洋式に考へて、サイダーの箱の底を四寸に一尺ばかり切拔いて、之を便所に備へ、之に跨る事を考へ出し、已に三年餘り實行しますが、之が實に樂です、簡單な事です。思召ある方は明日から實行なさい。便所で新聞を讀む長便所の人には、痔がなくとも結構でせう。

回老て見える

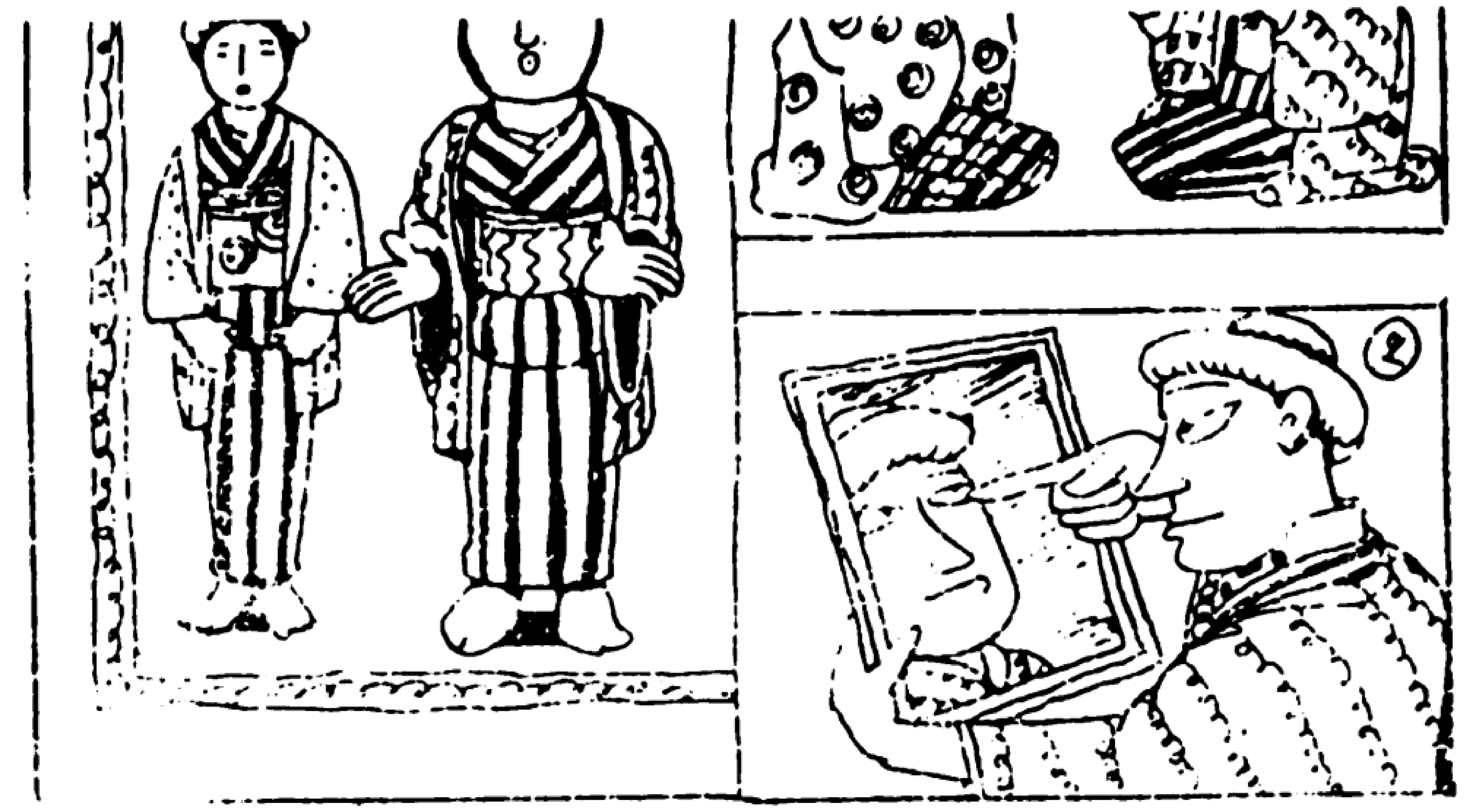
（一）年よりも老けて見られる婦人がほんとの歳は二十歳なのに「二十五六にはたしかに見えますよ」と斷定されたり、どう見たつて二十歳には見えませんわ――ほんとに老けてゐらつしやる事と、戸籍面を蹂躙されたりして絶えず悔しい思ひをしては（二）我れと我が顔を鏡に寫してそんな筈はないのにと尚自重してなられますが、（三）年よりも若く見られる婦人と落ち合つて、等身大の大きな鏡に相並んで、身体全体を寫して見ると始めて自分の老けて見えるのが鮮明に了解されます。それは老けて見える人は顔が身体の釣合上よりより大きく、若く見える人よりはより小さい事に氣が付きます。

△甘い物を食ふ法

胃病の人程甘い物が喰ひたい。喰ふと胸がやける、全く仕末に了へない事です。私は今も甘い物を喰はずに居られない。其所で喰ふ法を考へました。飯の直ぐ前か飯と一所に喰ふのです。そうすると、夫れ丈け飯を加減するから減多に胸がやけず、至極結構です。不思議と、食後に甘い物を喰つた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らホンの少しばかりでも忽ち胸がやけます。此頃は、子供等にも甘い物は食前か食事と同時に與へるのです。さもないと、飯を腹一杯喰つに上に、又甘い物を餘計に喰ふから、胃を惡くします。次號には、胃病者に甚だ厄介な反嚼の療法、果實の食い方、ツベルクリン注射談、胃病者の運動、灸治法などの實驗を述べます。尚同病相憐むの諸彦、此種の實驗談を寄せられん事を希望致します。



女

料理の主眼

△活動力の源は食物

日本では今迄あまり食物の事を注意しませんが、西洋では衣食住の中で最も重きを置くのは食物です。粗末な着物を着ても食物には充分の注意を拂つてゐるので非常な活動にも堪へる事が出來るのです。我國の人に活動力が少く又一般に身体が弱いのは食物の源因する事が最も多いと思ひます。人の壽命は醫藥によつて支へるのでなく日常の食物によつて長生きも出來れば、早く死ぬる事も出來るのです。そこで料理する時には一方には滋養を主とし他方では經濟といふ事を考へ兩者相待つて初めて完全な物を作られるのであります

△食事を改良すること

幸に日本ではどんな家庭でも食物を調理しますから、凡ての滋養分を平等に又各自の身体に適するやうに取る事が出來ますが、西洋では中々そうでありません。料理の機關を家庭に備へた日本人が料理店へ行くといふのは實に贅澤な事です。又注意しなければならない傾向です。私はこれに就て種々研究しましたが、それは啻に家庭の食事がおいしく無いといふばかりでなく、食事の時間が愉快で無いといふ事に歸因するやうです。何故ならば我國の上流の家庭では一家族一つの食卓に向つて食事をするといふ所は非常に少いからであります。次に我が國の夕食は三度の食事中最も注意して料理する習慣になつてゐますが、子供には出來るだけ消化しやすいものを用ひて頂きたいと存じます。西洋人は晝と四時のお茶の時に一番御馳走をとして、夜は晝の殘りで、間に合すか、さもなければ極輕いものか、又取らずに濟ます事もある位です。これを其まゝ我が國に應用する事は出來ませんが、もう運動する時間のない夜の食事は料理する時に注意しなければなりません

△殘らぬやう料理すること

品物の澤山ある時は其品物の品位を下げ又粗末になる事が多いのと同じやうに料理でも同ものを澤山一時に作つて食卓に載せる事は切角の料理を代なしにしてしまふ事になります。料理は「今少し」といふ所が丁度好い加減ですから、同一つの材料でも幾色にも使ひ分けて食べさせるやうにして欲しいと思ひます。料理の法としては客に出したものを食べずに殘されるのは非常に侮辱されたことになるのですから、成るだけ食せるだけの範圍の分量に於て、色々の工夫を試み、お膳に据たもの全部を殘らずお客様が召し上るやうに調理しなければなりません。（万源主　宇野氏談）

家庭園藝叢談（二）

千葉晩香

△麝香撫子は是から鉢植付としてフレームで管理すれば厳冬隆々の候馥郁たる佳香を放つて美しい花が見られるのです。

△此カーネションは歐米各國の到る處の帝王及貴族に歡迎さるゝ花で價の高價な優美な花であります

△此草花の接木など十一月中盛んに行ふべきものであります。

△中菊の變化は此月（十一月二十五六日頃）下旬でなくては變化の奇妙な所を見る事が出來ません。

△矮小の寒菊の接木は只今頃十分施肥すべきものであります是れは根緊用として用途が多くあります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

命令一下勵行せよ

△自働車自轉車人力車
△に常鈴を付けさすと
△汚穢屋の白晝濶歩を
△嚴禁さすべきこと

一歩外へ出ると自働車、自轉車人力車の危險に絶えず脅かされる甚だ厄介な事です。況んや女や老人や子供には恐るべき大敵だらうと思ひます。そこで、私は當局者に望む。一日も早やく、車に常鈴と警笛と二つ備へる規則を發布して嚴重に勵行してもらひたい。

昨今の自轉車や人力車は、途方もない氣取つたしやれを用ゐて、人の後に迫つて突然消魂しい警鈴警笛を發する。まるで惡太郎の惡戯同樣です。以前は、人力車に輕い音の環が付いて遙か後から來るのが解つたものです。

自働車と人力車に氣持の好い音のする環を付ける事。鈴の付いた馬がシヤン〳〵と音する昔時驛路の例もある事です。

そして雜踏の際など、特に警鈴警笛も必要であるから、之も備へるとして、其の音響が、自轉車人力車、自働車と三種三樣に異つたものを用ゐる事。つまり、我々が後を振り返らずに、其の車の種類を明瞭に聞きわけ得られる樣にする事。昨今最も亂雜なのは自轉車の警笛で自働車の眞似をして人を脅かす事を樂みにして居ます。

こんな事は、金もかゝらず、警察令一下、明日からでも實行されそうなものですが、如何なものか何れ本誌同人の方で、其筋へ伺い出て、御相談するつもりです。

今一つ汚い話だが、白日の下、汚穢屋が黄な抄杓を昇いて大道を濶歩するなども、隨分恐れ入つた話です。糞尿車は、朝早く通行すべきものと云ふ樣な規則にしたら如何なものか、御參考迄ではない本氣にお願ひしたいです。一等國の帝都に、フロツク、シルクの禮服を勵行するならば、こんな汚ない方や、危險な方の取締が先決問題です。東洋式の豪傑は天下國家と云ふ抽象な文字ばかり口にして足下を見ない。我國には、お座敷ばかり有つて、臺所や便所がない樣な形です。

東京人の十中八九は、對支外交問題に苦しめられるよりは、自轉車人力車の危險に苦しめられて居ます。

（澁田新藏）

斜視は癒る

美顏手術の進步

▼身の光は眼なり

人は一口に目鼻立ちと云ふが凡そ目付の惡い程いやな者はありません。馬太傳にも「身の光りは眼なり汝の眼明なれば全身も亦明かなり」と書かれてある通り角目付の善惡は處世上の損得に大なる關係があります。美眼手術とは眼球眼瞼、眉毛、及び眼附近の醜形を美しくする手術で、第一斜視、第二は、美眼及美眼裝入、第三は入墨術即ち殘れる白班を染色する手術、第四は眼瞼の成形術、第五に眉毛の移植法其他眼周圍の瘢痕及母班等です。第一の斜視は不治の如く思はれてましたが、今や手術の進步で、必ず全治するといつて善い。

▼斜視手術の沿革

一千八百三十八年獨逸のストロマイエル氏屍體に就きて斜視は手術に依り正位に復すべきことを證明し其翌年ズーヘンバツハ氏之を一少年に行ふたのが實に斜視手術の一大紀元です。時恰も我が天保十年十月六日に當ります。今や世界の文明國に於ては熟練せる眼科醫に依り良成績を擧ぐるの幸運に達しました。假令全治するも手術に疼痛がありては困難ですが、目今は局部痲痺藥で些少の疼痛もなく時間も三四十分以內で何の苦痛もなく一回或は二回の手術に依り終生正位を保つとが出來ます。

（眼科醫畑晴次郎氏談）

冬仕度三種

コート地

以前には無地もの共縞ものが非常に流行したものですが、本年は一般に大柄の縞物で朦朧とした茶系統のものです。地はお召類が非常の流行です、上等品は大內お召金紗お召、三越ラプラお召、しづかお召で十八圓乃至二十圓止まりです。中等品は優好お召位の處で十一二圓、それ以下は新お召で瓦斯又は紡績入ですが七、八圓乃至十圓止まりです。お召に飽きたと云ふ向の方には大島紬、綾糸織、鹽瀨類を用ゐる方もありますが、これは未だ一般には向きません。以

上の裏地は羽二重、綸子の友禪又は絞りで、淡色で派出模樣をあしらつたものです。價格は仕度て上げて上等コートは二十七八圓より三十圓止まり、中等は二十圓前後それ以下は十圓から十二三圓位です。一般に長いコートは用ひませんで半コートばかりです、型は道行型が最も流行して居ります、上等品になればなる程凡ての飾は共切れを用ひて居るやうです。

雨降用には、セル一方で柄は格子の鮮かでないものです。當今は冬もやはり一重で、裏付は用ひないやうになりました。

マント

昨今は無地ものが多かつたのですが、本年は荒い縞物や織出しの共縞又は霜降などが大分で、居ります。色合から申しますと女兒用には濃紅色、青磁紺茶等が多く男兒は茶紺等で御座います。形は普通ですが一般にビロードの襟がついて居りますから可愛らしう御座います。地質は羅紗(五圓より七八圓迄)モヘヤ製(七、八圓)ベルベット(十圓内外)ですが雨降等の時及び平常用ひますには羅紗が最も適當です。

肩掛

薄地ものでは本年も羽二重の金紗縮緬、パレスクレープと云ふ現代縮緬と云つて羽二重やうの物又はニノンクレープと云ふ縮緬地にビロードで縞及び模樣を織出したものですが、羽二重の方は例年に比して變化はありません。本年は刺繍ものは全く廢れて用ひられ無く其の代りに縞物でゴシック又は更紗或は無地の緣を取つたものが大流行を極めて居ります。而し昨年の樣な棒縞で無くて大縞に細い縞をあしらつたり又は飛模樣を入れたものが多いやうです。色合は淡色で茶系統のものがよろしうございます。

ニノンクレープは今迄舶來品ばかりで二十圓位したものですが今では京都で作る事が出來るやうになりましたから六圓から十圓位で非常に良品が出來て居ります。初冬用にも防寒用にも適して柔かで具合がようございます。

絹糸製は三圓より七圓止まりで割合に格好ですが一般には廢れ加減です。

厚地ものには舶來のシールがありますが柔かで色は黒とか、焦茶、洋紅グリン等、色々ありますが共縞ですから極平凡のものが多いやうです。併し英國製で品は極少ないやうです。價格は六圓内外です。

毛皮物には變化はありませんが老人向には暖かでよろしいでせう又近頃短いマント風のものも少し見え初めました。ロビット製は五六圓、カワウソ、イタチ、ムクロ製はマフ附で三十圓内外です。

御大典模樣として月桂樹、橘櫻等を織出しにして是に縞をあしらつたものに色々工夫されたものが澤山ありますが主として若向が多うございます。水雷形は本年もやはり平常用としては最も適して居るかも知れません。一圓五十錢より五圓位まで、防寒用にもよろしう御座います。

主婦の手帳

▲コップの汚れ

コップさか瓶さかいふ樣な硝子の器具は牛乳や肉汁等油氣のある物を入れると曇つて汚なくなります。此れは重曹の少量を溶かした水を入れておいてから洗ふと奇麗になります。

▲ニスを塗つた物は

ニスで塗られた机や蓄音器等の汚なくなつた時は刷毛か筆でニスを塗ると美しくなります。一度塗つてある物にニスをかけるのは雜作もない事ですしニスは極く安價な物ですから常に蓄へて置く方がよろしうございます。

▲乳の汚点は

乳の多く出る手持の人は能く乳が洩れて紅絹裏に汚点が出來るものです。然ういふ時は直ぐなら水でも落ちますが、時經た時分ならば、表と裏とを解放して、白布の上に脱脂綿をのせ、『ベンヂン』か『エーテル』をつけて密と汚れた處を擦すつて後アルコールを脱脂綿につけて拭へば奇麗になります。

▲髪に癖のついた時

油で固めた日本髪を解いて束髪に結はうとする時どうしても日本髪の癖がついて結へません。洗へば一番いゝのですが洗つて居る間のない折は癖直しのお湯の中に二三滴のアルコールを落して癖直しをなしますと油氣は落ちてさら〳〵と美しく結ばれます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御大典奉祝用

菊花料献立

万源主　宇野禰太郎氏案

一、菊吸物　すまし口取　白菊二輪　鳥の糸切　三葉
一、向附　三杯酢　菊花さより　筆生姜
一、鉢肴　鯛の菊葉ごし
一、口取かはり　海老の錦揚　のし、豚、くわゐのかすてら蒸し
一、深皿盛　大根の鳥そぼろ
〆五品

料理法（五人前分）

菊吸物

白菊十輪。鳥の抱身三十匁切り　三葉二束。柚子少々

鳥を糸切として鹽に一時間程つけて置き、次に菊花、三葉及び前に鹽漬けにした鳥を各別々にざつと茹て、目籠に上げて水を切ります。椀に盛ます時には菊を一番下に盛その上に一寸合ひの長さに切つた三葉と鳥を入れて愈々お客様に出す迄椀に蓋をして置きますこのつゆは水氣のものが多いですから、少々辛目に致た方がいゝでせう。柚子はおろし金で皮の處をおろして少々宛入れて出します。

向附

さより八尾、黄菊少々、生姜五本。昆布一尺、酢、味淋、鹽少々づゝ

さよりを三枚におろして薄身を取り去り、毛ぬきに水を付け乍ら小骨をすつかり取つて酢につけて薄皮を取ります。黄菊は一寸茹て水にさらして置く。次に昆布は、洗はずに砂だけをよく拂ひ、先にさよりを漬けた酢をぬり、さよりの皮の方を昆布に着け、其上に菊を並べ、又その上にさよりを並べて昆布の端から卷き、すだれで尚卷いて一時間ばかり置きましたら昆布からさよりを取つて一本を二つ切にし、一人前に三切れ宛盛筆生姜を一本宛つけて出します。

筆生姜は生姜の軸を二寸位の處で切り、生姜の先を稍筆の格好にむき、酢三水一の割合のものゝ中に鹽を少々入れて煮立てそれで生姜を茹で、次に酢に砂糖又は味淋をまぜたものにつけて置くのです

最後に菊花さよりに味をつけます爲に、酢に醤油に味淋をまぜ卽ち三杯酢をかけて出します。

鉢肴

菊葉十五枚、鯛の切身百五十目、味噌五十目、鳥肉三十目、味淋砂糖少々

先づ菊の葉を鹽湯で一寸茹でよく廣げて露を切り、次に鯛を薄く十五切れに切て廣げおき鳥肉は肉引でよく引きまして、味噌五十目を裏越で越たものをまぜ、之を味噌と砂糖とで鳥の煮々るまでよく煮ます。煮え上りましたらばよくさまして鯛で包み更に菊の葉でこれを包んで一寸蒸して一人前三個平均に盛つて出します。

口取替り

海老五尾、玉子四個、パン粉、メリケン粉、胡麻油、醤油、味淋鹽少々

海老の皮をむきましたらお腹の方から充分にさきまして、醤油に十分間計り漬ておき、次に玉子を三つつぶして之を鹽と味淋とで更に裏越にかけて海老の中に入れます。この海老を竹の皮に包んで三處計り結へて約五分程蒸してさめるを待ちてメリケン粉と玉子の黄味と水とでまぜたものをころもとして急火にて胡麻の油で揚ます。一尾を二つ切として向ふにもつて出す。

▽のし豚

豚五十目、玉子白味二ヶ位、パン一切、砂糖五匁、醤油少々

豚を肉引きにて二度ばかり引き擂鉢に入れパンのまはりの堅き所を取つたものを水に浸してこれと交ぜ更に味淋、醤油及砂糖を入れてよく擂合せ玉子焼鍋に胡麻の油を引てこれに入れ、天火をかけて下から焼き、棧木に切つて二きれ盛ります。

▽かすてらくわゐ

くわゐ十個、玉子の黄味三個、砂糖五匁鹽少々

くわゐの皮をむき、茹で、裏越にかけ鹽と砂糖と黄味とを擂り交ぜ四寸計りの長さにして白木綿で卷き、三十分計り蒸します。冷ましたらば一人前に三きれ程切つて先きの二品と一所に盛ります。

深皿

大根十五切、鳥五十目、出し五合、味淋醤油少々

大根を厚さ七分計りに切り、皮をむきて面を取りいくらか鹽氣のある位の鹽水にて一時間計り茹で更に出し五合に味淋及び醤油を入れた露の中にてそれが煮つまるまで煮ます、次に鳥は肉引で引き味淋と醤油とで露氣が無くなるまで煎つて大根につけて出します。

（次號は鯛料理を掲載します）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身の上相談

かういふ結婚は

△私は某女學校を卒業した者で熱心な基督信者ですが、此頃親許から結婚を勸められて居ります。先方は某商業學校を出て、今では實地に商賣をしてゐるさうで、性質は極めて善い人ださうです。併し基督信者でない事と商人であるがために、私はどうも氣が進みません。この場合どうしたら善いでせう(よし子)

(答)商賣を賤むことは、昔からの遺習で、善く考へたら褒めたことではありません。商賣は詐術ではなく、正直な態度を以てやるべきとです。正直では商賣が出來ないと思ふのは最も大きな間違ひです。其れ故先方が商人であるとは、少しもあなたの恥辱ではありません。又先方が基督信者でないにしても、善い人なら、あなたが信仰に導くことが出來ると思ひます。唯洗禮を受けて教會へ籍を列してゐる人でも、未信者よりも惡い人は澤山にあります。其れ故それもあなたが拒絶する理由にはならぬと思ひます。此場合あなたにとりて必要な事は先方の性格や思想などを善く理解して先方を愛するとが出來るか否かにあります。愛なき結婚では仕方がありませんから、唯間接に親から聞いてゐるに留まらず、直接先方の人物を知るやうに勉めなさいまし。

再婚したい

△私は四十歳餘になる不幸な女ですが手に職がないので、行末甚だ心細く感じます。七十五になる老母が私の事を非常に心配して是非再婚して安心させてくれと申します。其故若し適當な所があつたら再婚したいと思ひますが、いかゞでせう(芝子)

(答)もう四十幾つの御身では出來るなら、一人でお出でになる覺悟をなすつたが善いと思ひます。今更あせつても仕方がありません。併し其内にあなたに適當な再婚口がないとも限りません。其時は嫁くことにして、兎に角一人で暮らす準備をしておいでなさいまし。

■仕事を求む　私は午前中事務をとりて收入の幾分を補ひたいと思ひます(信子)

■外勤の仕事を　私は女學校を卒業したものですが、何處か事務員になる口はないでせうか(さら子)

■女子販賣人を求む　シーガーミシン會社で女子販賣人を求めて居ります、御望みの方は本社に申込み下さい(記者)

購讀者諸君へ

購讀料をまだ御拂ひ込みにならぬ方は、どうぞ御願ひいたします、振替は東京三一六六〇番てすから之れを御使用下された方が御便利てす。振替御使用の時には、取扱料として一錢餘分に御拂込み下さい。

社告

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用は要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調查、人物調查、財產調查、男女學生品行調查、裁判上の證據調查等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外、午後零時より午後四時迄です。

顧問

衆議院議員文學士　小山東助
辯護士法學士　杉山賢三
法學士　高田愼吾
婦人週報主幹　小橋三四子

主任(前讀賣新聞身の上相談主任)松本雲舟

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社内

人事相談所

電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

帶上げの革命!!!

◉貴婦人愛用

此の繪は何に……あら未だ知らないの……

新發明の帶上げ止め……効用は……

●帶上げが下がらぬ●胸を締めぬ●後姿が「ステキ」●おたいこの形が立派●胸の呼吸が自然で呼吸器病に罹らぬ

專賣特許 衛生帶上げ止め

販賣店

三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 万新商店
小間物問屋 富士喜商店

□定價□

並製 三十錢
上製 四十錢
特製 五十錢より

●醫學上より見たる衛生帶上げ止め

生理上男子の呼吸は腹式で女子の呼吸は胸式であります共れは女子には妊娠と云ふ大役があるからであります然し之が爲め從來の帶上げ丈けではどんなに強く締めつけても直きづり落ちて「おたいこ」の形がくづれて見苦しくなります本品を御使用あれば婦人本來の胸式呼吸を完全に營む事が出來胸部の發達を阻害する憂ひは少しもありません。

●婦人美より見たる衛生帶上げ止め

日本婦人の美點は髮と帶とにあります本品を御用ひになればどんなにしても帶上の下がる事なく「おたいこ」の形も締めたまゝに「きちん」となつて終日後ろ姿の美を保つ事が出來ますなほこの帶上げ止めでは帶を高く結ぶことが出來ますから背がすらりと見えます。

（帶上げは丸髷形が一番調和します）

■使用法■

圖の如く下締へさし込んで帶と帶上げを一緒に帶上げ止の上に載せるのであります。

御大典記念一

（和洋服 羽毛皮 敷物窓掛）クリーニング 染 プレッシング

各國大公使館御用
帝國ホテル御用

御一報次第參上
御用相違可申候

日比谷

本店
支店
夏期

御大典紀念 特價販

故渡邊辰五郎先生遺著

新裁縫

本書は 皇后陛下を始め奉り……の光榮ある裁縫書なるが故に……特賣するものにして今後再度……

特

東京裁縫女學校長 渡邊滋先生著

普通裁縫

裁縫書として最も廣く天下に……書（黄表紙三冊物）の右に出づ……版の上最も實際的に編著した……に缺くべからざる良書なり。

特

故渡邊辰五郎先生遺稿

家庭獨習 渡邊……

家庭獨習用として最も叮寧親……れば如何なる初心者にも容易……伴侶たるは勿論、師につき學……此の光明に接せられよ

特

▲▲景品 特賣中右三書の……に渡邊式雛形一……
期限 自十月十五日……

發賣所

東京市日……
振替東京……

割引

ッ（無水清浄）

ッ（洋服皺伸シ）

ンリーニング商會

東京日比谷公園停留場際

（電新三一〇八番）

東京赤坂區田町五ノ八

横濱市元町一丁目（谷戸坂）

大連市伊勢町十六（電話九五二一番）

出張所 信州磁輕井澤

賣 景品付

教科書

和裝全三册

定價金弐圓

郵税拾貳錢

價金壹圓七拾錢

谷宮妃殿下の台覽を給はりし唯一無二

御大典に際し奉賀の意を表せんが爲に

特價販賣することとなし。

縫教科書

和裝全二册

定價金壹圓

郵税金八錢

價金八拾五錢

唱傳されたるは故渡邊先生の裁縫教科

るものなかるべし本書は之れが增補改

るものなれば斯學に志す人は必ず座右

裁縫講義

高等部

普通部

定價各金

壹圓廿五錢

郵税各八錢

價各册金壹圓

別に而して詳細に挿圖を以て說明した

に了解し得べし、されば一般婦人の好

ふ餘暇なき諸姉は速に一本を購求して

何れか購求せらるゝし各書ごと

（定價金拾五錢）宛をれ上す

至十一月三十日

區銀座町

三〇九〇番

榊原文盛堂

護謨製氷枕

四百個に限り

某商會の藏拂につき左の特價で御取次をします品は御請合致します。

大 四十五錢の處 特價參拾五錢 送料弐錢

小 四十錢の處 特價參拾錢 送料弐錢

婦人週報社代理部

東京市牛込區市ヶ谷田町弐丁目拾七番地

電話番町四五六六

振替東京三一六六〇番

新宿車庫横

歯科 口腔外科

糸川歯科醫院

歯科醫學士 糸川篤彥

歯科

ドクトル 富田貞一

電話浪花五四〇五

日本橋區高砂町六（久松町停留場より西一丁）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御大典記念に

御夫人御令嬢方に勧む

シンガーミシン會社は這般御夫人御令嬢方のミシン裁縫ミシン刺繍の御學習並びに御家庭用ミシン御購入の御便利を計る目的を以って

芝區車町六十八番地(泉岳寺傍)に

芝シンガー裁縫院を設立致しましたから規則書及びミシン型録は御希望の方に御通知次第無料進呈致します。出張教授にも應じます。

芝シンガー裁縫院

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同様美麗にいたし候

あらいはり、しみぬき、ゆのし

右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候　宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地(靈雲寺門前)

井筒屋支店　**中村榮次郎**　電話下谷五六七四

御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候

輸出向編物の内職あり

ドロンウオークの需に應す

芝區三田四國町一番地

高畠すみ子

電話芝二一七九七番

野口精子

歌集 夕ばえ

青空に黄金の柱わが

山の火は横になびき

歌集「夕ばえ」は千有余の作のであります。其數すべて

しさと、美しさと あくまで

えの雲のかゞやきにも似た

抑々何をか暗示し、如何な

を娯しむ婦人の机上におす

東京

發兌

産
婦人
小兒

女醫

東京府
番衆町三

大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正四年十一月十二日發行

本紙定價 一部金四錢五厘(郵送料共)▲三月十三
半年(廿六部)前金壹圓▲一年(五十

者 ん

表紙木版畫八度刷
挿畫四葉天金函入
定價金七十錢
郵税金八錢

歌の宮居つつくし公孫樹のもみぢて葉す天女髮引く夕ばえの空

中より會心の歌を自撰せられたるも
六百首、裝幀は内容にふさはしき優
て清高に芳烈に、……げに夕ば
らむ、この歌集は
る響きを傳へるでせうか、　詩歌風流
ゝめいたします。

京橋區尾張町
警醒社
振替東京五五叄番

家庭週報

■家庭週報は四六四倍大八頁のもので毎週金曜日に發行致します。

■家庭週報の内容は主として日本女子大學校卒業生の研究。經驗及思索。文苑の發表機關にあて又廣く一般婦人の眞面目なる所信の發表機關にあてゝ居ります、尙婦人に關する諸先輩の意見を乞ふて掲載致します。

■家庭週報の抱負は廣く婦人の件侶となり、慰安となり指導となつて行くことを期して居ります。

■家庭週報は常に研究的態度を以て改善進歩に務むることを忘れません。

■家庭週報は編輯は勿論事務、發送、廣告等總て女子の手に依つて經營せられて居ります、故に家庭週報そのものが旣に女子研究の好材料と見らるゝことを覺悟して居ります。

▲定價一部(郵税共)金三錢五厘
○半ヶ年分前金八十五錢　一ヶ年分前金一圓六十錢

發行所　東京市小石川區日本女子大學校内　**櫻楓會**
電話番町　二一六五　振替貯金口座東京　一〇三四〇

科　科　科

内藤新宿十一番地
井出茂代
電話番町三六七七番

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地(市ヶ谷見附内)
電、番六二番
東洋内科醫院

院長　醫學士　**高田畊安**

電話ちがさき二番
南湖院
相州茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

[illegible]前金五十四錢
[illegible]二部)前金貳圓

廣告料　一行金四拾錢　一段拾貳圓　一頁金六拾圓

東京市牛込市谷田町二丁目十七番地
婦人週報社
電話番町四五六[illegible]番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA